

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署			
企画政策課		情報化推進係（内線 254）	
項目番号	1	実施項目	ホームページ等による情報提供の推進
元年度計画の内容		<p>年齢的・身体的条件に関わらず、誰もが利用しやすいホームページに改善（ウェブアクセシビリティ）し、町の情報に触れる機会を増やすことにより、地域住民や企業の社会経済活動を活性化させるとともに、砥部町のファンを増やし地域振興を推進する。</p>	
元年度の取り組み内容 と評価、分析		<p>ホームページの更新などを行う際は、ウェブアクセシビリティを遵守し、誰もが利用しやすいホームページの運営に努めた。 また、砥部町のファンを増やすため、町内の出来事を動画で紹介する「映像ニュース」のサイトで砥部町の特産品を随時紹介した。</p> <p style="color: blue;">該当する箇所に○をつけてください。</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施                      <input type="radio"/> b やや遅れ気味                      <input type="radio"/> c 未着手             </p> <p style="color: blue;">bまたはcの理由</p>	
H28からR1年度までの 取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)		<p>平成30年にウェブアクセシビリティの調査を民間事業者に無料で行っていただき、結果を分析し、可能な範囲でページの修正を行った。 また、毎年ホームページ担当者への研修を行い、ウェブアクセシビリティの理解を図るとともに、ウェブアクセシビリティを遵守した運営を継続して行うことができた。</p>	
推進部署の課長の所見		<p style="color: blue;">元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。</p> <p>ウェブアクセシビリティの確保には、各課のホームページ担当者の理解と指導などが重要である。 また、情報が劣化しないよう古い情報の削除を行ったり、地域住民や社会経済活動の活性化を図るため、より多くのオープンデータを公開するなど、常に改善を図っていく必要がある。</p>	
元年度の 実施による	削減額	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
総務課	契約資産係（内線216）

項目番号	2	実施項目	契約制度の適正化・効率的な入札制度の推進		
元年度計画の内容		①電子入札の運用【継続実施】 ②実施要綱に基づいたプロポーザルを実施【継続実施】 ③測量・コンサルタントの入札において最低制限価格を設定【継続実施】			
元年度の取り組み内容 と評価、分析		・電子入札運用 令和元年度の電子入札執行件数は104件 建設工事                    91件 測量・コンサルタント    13件 委託・物品                    0件 運用に関する経費は次のとおり えひめ電子入札共同システム利用負担金    424,000円  ・測量・コンサルタントの入札における最低制限価格の設定について 契約規則を一部改正し、工事に係る調査、測量及び設計業務について 最低制限価格を設定可能とした。 ※設定済件数    0件  ・不落・不調対策 郵便入札及び電子入札に限り1者入札を有効とする例外措置を継続的 に実施した。			
		該当する箇所に○をつけてください。			
		<input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施      b やや遅れ気味      c 未着手			
		bまたはcの理由			
H28からR1年度までの 取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)		電子入札システムの運用により、透明性・公平性を確保した入札執行が行えた。 ○H28-R1電子入札件数：工事297件、設計コンサル40件、物品1件			
推進部署の課長の所見		元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。			
		継続して実施している不落・不調対策の1者入札有効の例外措置については、業者不足の中、本町の事業の執行に有効であった。			
元年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署			
		総務課	危機管理室防災企画係（内線214）
項目番号	3	実施項目	防災組織の活動の充実
元年度計画の内容		<p>自主防災組織単位の防災訓練や関係機関が参加する総合防災訓練を年1回実施するとともに、各自主防災組織へ複数名の防災士の配置を行う。</p>	
元年度の取り組み内容と評価、分析		<p>○自主防災組織率99.8%（56組織）                      ○元年度防災士養成者数 20名（累計160名 うち女性27名）                      （※今回の養成で、上野区、あかがね区、大畑区、大角蔵区、千足区、大平区、川中区自主防災組織に複数名の防災士を配置）                      【主な活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町自主防災組織連絡協議会開催（1回）</li> <li>・消防署等と連携した自主防災組織単位での訓練 12組織</li> <li>・各種研修会（地域防災リーダー養成講座等）への参加 延べ54名</li> <li>・土砂災害防災訓練                          （参加者47名 うち防災士17名 対象校区：麻生小学校区）</li> <li>・町総合防災訓練                          （参加者378名 対象校区：麻生小学校区）</li> </ul>	
		該当する箇所に○をつけてください。	
		<input checked="" type="checkbox"/> a 計画どおりに実施      b やや遅れ気味      c 未着手	
		bまたはcの理由	
H28からR1年度までの取組に対する成果 （成果がない場合はその理由）		<p>防災士の配置については計画通り進んでいる。特に各行政区複数名の防災士の配置が進んでいることにより、防災士同士の繋がりが出来、区内での自主的な活動が活発化してきている。町が進める「共助」の活動を引き続き支援していきたい。</p>	
推進部署の課長の所見		元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。	
		<p>防災士の配置については、計画通り取り組んでいる。                      自主防災組織活性化のため、引き続き、防災士の複数名の配置や女性防災士の養成に努めていくこと。                      また、地域の防災力向上のため、地区防災計画の策定の支援や「共助」の促進に努めること。</p>	
元年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
保険健康課	健康増進係（内線602）

項目番号	4	実施項目	特定健康診査及び特定保健指導の推進			
元年度計画の内容		1. 特定健康診査受診率の向上（目標45.1%） 2. 特定保健指導実施率の向上（目標57.5%）				
元年度の取り組み内容 と評価、分析		<p>1. 住民の利便性を考慮し、希望調査用紙と電話予約を併用した完全予約制とし、受付業務を引き続き実施した。時間当たりの受診者数を限定したことで待ち時間が大幅に減少し、より快適な受診環境を整えた。土日に受診希望する人のために休日検診を9回実施した。</p> <p>特定健診とその他検診を併用実施することにより1日で検診が終了する環境も引き続き実施した。集団検診日程に都合がつかない人や、より快適に受診したい人に対しては、個別で検診機関にて受けられる「とべっち健康ドック」を実施した。</p> <p>特定健診未受診者勧奨対策として、春と秋の集団検診に合わせて新聞折込（がん検診受診勧奨の意味も含む）を実施した。春と秋の集団検診、冬以降のとべっち健康ドックや個別医療機関での受診勧奨に合わせて、勧奨文書の送付や電話勧奨を実施した。また、特定健診を受けることを条件に5大がん（胃、肺、大腸、子宮、乳）検診のうち、どれか1つを無料で受診できるクーポン券事業を新たに実施した。</p> <p>2. 集団健診、とべっち健康ドック及び個別健診の受診者で、生活習慣の改善が必要と判定された人に特定保健指導を実施した。対象者には、保健センターでの相談について事前に文書と電話勧奨を行い、都合が合わない人には日時の変更や自宅訪問を行った。それでも出席が難しい人へ理由を確認し、開催日の変更を行った。委託業者が最終確認できていない対象者情報について随時確認し、町職員が訪問して評価終了とする等連携して取り組んだ。</p> <p style="color: blue;">該当する箇所に○をつけてください。</p> <p style="text-align: center;">a 計画どおりに実施      <b>○</b> b やや遅れ気味      c 未着手</p> <p style="color: blue;">b または c の理由</p> <p>1. 完全予約制の導入やとべっち健康ドックを設けたことで受診者からは、好評を得ており、とべっち健康ドックの受診者数は増えてきているが、受診率の大幅な増加には至っていない。理由としては、既に生活習慣病による通院中の人や、若年層の健康づくりへの意識が低いと考えられ、その人たちへの効果的な勧奨ができていなかったのではと考える。</p> <p>2. 前年度からの繰越者について全員実施でき、また、新規の保健指導対象者が多かったため、実施率が上昇している。ただし、対象人数が100人未満のため、少数の結果に影響されやすいが今後も引き続き実施していく。</p>				
H28からR1年度までの 取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)			H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
		特定健診受診率 (%)	32.8	34.3	33.4	34.3
		特定保健指導実施率 (%)	53.1	56.7	54.4	71.0
推進部署の課長の所見		元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。				
		<p>大幅な増加には至っていないものの、前年度より受診率が上昇している。特定健診については、5大がん無料クーポン券事業による効果と思われるため、今後も継続するとともに、新たな勧奨方法にも着手し、更なる受診率向上を目指したい。</p>				
元年度の 実施による	削減額	2,131千円	うち一般財源		2,131千円	
	増収額	千円	うち一般財源		千円	
	新たな支出額	千円	うち一般財源		千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署			
上下水道課・生活環境課		下水道係（内線563）・浄化槽係（内線521）	
項目番号	5	実施項目	汚水処理整備による生活環境の改善
元年度計画の内容		変更後の計画による事業の実施 (下水道整備面積：約13ha/年、浄化槽：40基/年)	
元年度の取り組み内容 と評価、分析		下水道処理区域は、高尾田、拾町地区の一部地域の整備による供用開始を行い、令和元年度末において対前年比5ha増の112haとなった。平成29年度事業計画において、整備面積を138.8haから187.0haに見直し、引き続き変更後の計画による事業を実施しており、令和元年度末での整備率は59.9%になった。 浄化槽設置整備事業は、令和元年度40基の整備計画に対して36基の申請があり、整備を実施した。	
		該当する箇所に○をつけてください。 a 計画どおりに実施 <b>○ b</b> やや遅れ気味    c 未着手	
		bまたはcの理由 【下水道】 予定していた工事（面整備）3件、委託（現場技術）1件及び水道管移設工事1件を繰り越したため。 【浄化槽】 各年度において申請数に変動はあったが、全体的に補助対象区域内の補助申請が減少したため。	
H28からR1年度までの取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)		【下水道】 全体的にやや遅れ気味となっている。取組予定では、R6年度末までに都市計画区域内の整備を完了させる予定であったが、工事の繰り越しが発生したため、年平均13haの計画は達成できなかった。10年概成にあたるR8年度末までに同区域内の完成を目指す。 【浄化槽】 浄化槽設置整備補助事業は、H28-R1の4年間で合計160基の計画に対し、132基の申請となった。下水道未普及の区域が多いため、今後も同数程度の申請を見込むものの、引き続き汲み取りトイレ及びみなし浄化槽からの転換を重点的に取り組む。	
推進部署の課長の所見		元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 【下水道】 2年連続で工事の繰越が発生したため、やや遅れ気味となっている。このためR6年度末までに都市計画区域内の整備を完了することは困難であるが、今後も確実に事業を実施し10年概成に取り組む。 【浄化槽】 下水道未整備区域が多いため、引き続きみなし浄化槽から合併浄化槽への転換による普及促進を実施し、汚水処理の向上を図る。	
元年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画政策課	企画政策係（内線 252）

項目番号	6	実施項目	業務マニュアルの整備	
元年度計画の内容		「業務マニュアル作成要領」の策定		
元年度の取り組み内容 と評価、分析		<p>業務マニュアル作成要領を作成し、平成30年度の7月末を目途に、要領に則ってマニュアルを作成するよう各課に依頼した作業が完了した。 その後、各課の入力内容を確認したが、課によって詳しく記載したところとそうでないところの格差が非常に大きくなっていった。 また、各担当課では、単にマニュアルをつくれれば終わりという意識も感じられたため、改めて、「人事異動後引継ぎしなくてもすぐに業務が継続できる」を目標にマニュアル内容を見直す。</p>		
		<input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施      b やや遅れ気味      c 未着手		
		bまたはcの理由		
H28からR1年度までの取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)		平成30年度に、業務マニュアルは完成しているものの、「人事異動後引継ぎしなくてもすぐに業務が継続できる」という、目標の達成ということ、精度が低いと思われることから、引き続き、各課との調整を行い精度上げていかなければならない。		
推進部署の課長の所見		<p style="color: blue;">元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。</p> <p>30年度に要領を策定し業務マニュアルを作成したが、要領を示しているとはいえ、個々のマニュアルレベルに差があるため、マニュアルレベルをどう合わせるかが重要となってくる。 また、「人事異動後引継ぎしなくてもすぐに業務が継続できる」という、新たな目標の達成はできていないことから、今後も継続して見直しを行う必要がある。</p>		
元年度の 実施による	削減額	うち一般財源		千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画政策課	企画政策係（内線 252）

項目番号	7	実施項目	民間委託等推進ガイドラインの策定		
元年度計画の内容	民間委託等の導入推進				
元年度の取り組み内容 と評価、分析	民間委託推進ガイドラインは、令和元年度末に完成した。 今後は、事業や施設の事務を全部または一部を委託するのか、同種事務をまとめて委託するのか、あるいは異種複数事務をパッケージ化して委託するのかなどを継続して検討する。				
	<input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施      b やや遅れ気味      c 未着手				
	bまたはcの理由				
H28からR1年度までの 取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)	民間委託推進ガイドラインは、令和元年度末に完成した。				
推進部署の課長の所見	元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。  民間に事務を委託することで財政負担が増すこともある。事務を民間委託する意義を明確にすることと、それを実現するための判断基準を定める必要がある。				
元年度の 実施による	削減額	うち一般財源			千円
	増収額	千円	うち一般財源		千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源		千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
介護福祉課	社会福祉係（内線548）

項目番号	8	実施項目	総合福祉センター（仮称）の建設	
元年度計画の内容		平成31年4月供用開始		
元年度の取り組み内容 と評価、分析		平成31年4月供用開始		
		該当する箇所に○をつけてください。		
		a 計画どおりに実施	b やや遅れ気味	c 未着手
		bまたはcの理由		
H28からR1年度までの 取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)		拠点施設の整備により、子育てや高齢者に関する相談・関連情報、支援サービスの一体的な提供を行い、地域福祉の充実を図ることができた。		
推進部署の課長の所見		元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。		
元年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
生活環境課	ごみ対策係（内線 524）

項目番号	9	実施項目	ごみ処理方法の検討と事業系一般廃棄物の減量化推進		
元年度計画の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・美化センターの耐用年数到来を見据え、今後の方向性及びごみ処理方法について近隣市町と検討する。</li> <li>・事業系一般廃棄物の減量化推進を図る。</li> </ul>			
元年度の取り組み内容 と評価、分析		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中予地域の3市3町で、ごみ減量リサイクル等の広域連携会議（担当者レベル）を開催し、今後の取組について課題の共有や検討を行った。</li> <li>・事業系一般廃棄物については、ごみの減量を推進するために砥部町商工会を通じて会員に対して、事業系廃棄物の分別表を配布した。</li> </ul>			
		該当する箇所に○をつけてください。			
		<input checked="" type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	計画どおりに実施      やや遅れ気味      未着手
		bまたはcの理由			
H28からR1年度までの取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理方法の検討については、近隣市町との間で連絡会議を立ち上げ広域処理に向けた協議を行った。</li> <li>・令和元年度の事業系一般廃棄物の排出量は、平成26年度対比で4.7%削減できた。目標年度である令和12年度には、平成26年度対比で約18%削減する。</li> </ul>			
推進部署の課長の所見		元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町との協議については、目途が立ち「松山ブロックごみ処理広域化検討協議会」が立ち上がることとなった。</li> <li>・協議を行い、他市町の取組等を参考にしながら事業系一般廃棄物の減量化を推進する。</li> </ul>			
元年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円	千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
子育て支援課	保育幼稚園係（内線 721）

項目番号	10	実施項目	幼稚園、保育所の運営のあり方	
元年度計画の内容		運営方法の検討 麻生保育所改築事業		
元年度の取り組み内容 と評価、分析		<p>令和元年10月から開始された幼児教育・保育無償化に合わせ、保育所とこども園で土曜午後保育を開始し、延長保育を時間単位で利用できるよう改正することで、保育の充実を図った。</p> <p>幼稚園及びこども園の1号認定児童については、同じく10月から、14時以降も保育が必要な在園児を対象として、16時30分までの預かり保育を開始した。</p> <p>麻生保育所改築事業については、12月に新園舎が完成し、12月21日に竣工式を執り行った。新園舎の仮使用許可を受け年末年始に移転を完了し、1月から新園舎での保育を開始しました。その後、旧園舎の解体工事や造成工事等に着手した。</p>		
		該当する箇所に○をつけてください。		
		<input checked="" type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c
		bまたはcの理由		
H28からR1年度までの取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)		<p>平成27年4月の子ども・子育て支援新制度開始、令和元年10月から始まった幼児教育・保育無償化と、年々高まる保育ニーズに対応するために、保育士確保を目的とした認定こども園開設、麻生保育所の建替えと待機児童解消を目指して取り組んだ。しかし、成果はあったものの解消には至っておらず、今後も継続して対応が必要である。</p>		
推進部署の課長の所見		<p>元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。</p> <p>幼児教育・保育無償化については世間にも浸透し、当方の取扱い事務も滞りなく執り行っていると認識している。</p> <p>麻生保育所建築本体工事は11月末に完成。新園舎の備品購入や引っ越し作業を完了させて2年1月より暫定開園済みです。敷地整備(造成第3工区)工事も年度内に完了した。建物影響調査、旧園舎の解体工事は仮設園舎撤去の影響で一部繰越明許措置をしたが、建築本体工事は工期中は綿密な打ち合わせにより、危険回避とともに満足のいく工程となったと自負しています。次年度は繰り越した残りの解体工事を実施の後、第二期造成工事、園庭・駐車場整備工事を実施し、令和2年度末に完成・正式開園にこぎつけたいと考える。</p>		
元年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円
	増収額	千円	うち一般財源	千円
	新たな支出額	542,362千円	うち一般財源	73,696千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
総務課	人事係（内線212）

項目番号	11	実施項目	窓口サービスの向上																																																
元年度計画の内容	令和元年度は、「窓口サービスアンケート及び接遇研修の実施」を掲げている。																																																		
元年度の取り組み内容 と評価、分析	接遇研修を実施し、職員の資質向上に努めた。																																																		
	接遇研修受講者推移																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 10%;">H27</th> <th style="width: 10%;">H28</th> <th style="width: 10%;">H29</th> <th style="width: 10%;">H30</th> <th style="width: 10%;">R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数</td> <td>34</td> <td>48</td> <td>32</td> <td>43</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>21</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>17</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>全職員</td> <td>199</td> <td>198</td> <td>198</td> <td>197</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">受講率</td> <td colspan="2">H27-H29</td> <td colspan="2">57.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">H28-H30</td> <td colspan="2">62.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">H29-R1</td> <td colspan="2">57.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	H27	H28	H29	H30	R1	受講者数	34	48	32	43	37	男	21	35	25	26	26	女	13	13	7	17	11	全職員	199	198	198	197	194	受講率	H27-H29		57.6			H28-H30		62.4			H29-R1		57.7		
	年度	H27	H28	H29	H30	R1																																													
受講者数	34	48	32	43	37																																														
男	21	35	25	26	26																																														
女	13	13	7	17	11																																														
全職員	199	198	198	197	194																																														
受講率	H27-H29		57.6																																																
	H28-H30		62.4																																																
	H29-R1		57.7																																																
<p>該当する箇所に○をつけてください。</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施                  <input type="radio"/> b やや遅れ気味                  <input type="radio"/> c 未着手         </p> <p>bまたはcの理由</p>																																																			
H28からR1年度までの取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)	3年間で最低でも1度は受講することとしており、接遇能力向上が図られている。																																																		
推進部署の課長の所見	元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。																																																		
元年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円	千円																																														
	増収額	千円	うち一般財源	千円	千円																																														
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円	千円																																														

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
総務課	人事係（内線212）

項目番号	12	実施項目	定員適正化の推進				
元年度計画の内容		次期定員適正化計画（令和2年度から5カ年計画）の策定準備					
元年度の取り組み内容 と評価、分析		定員適正化計画の年次別進捗状況（各年度4月1日、単位：人）					
		区分	H28	H29	H30	H31	R2
		目標	200	200	200	200	200
		実数	(198) 199	(198) 199	(197) 198	(194) 195	(197) 198
		対前年比	▲ 1	0	▲ 1	▲ 3	3
		実数の（ ）内の数値は、教育長を除いた数					
		令和元年度退職者等数 12人 （定年7人、自己都合2人、再任用任期満了1人、再任用勤務形態変更2人）					
		令和2年度採用者数 15人（うち再任用職員1人）					
		該当する箇所に○をつけてください。					
		<input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施 <input type="radio"/> b やや遅れ気味 <input type="radio"/> c 未着手					
		bまたはcの理由					
H28からR1年度までの 取組に対する成果 （成果がない場合はその理由）		第3次定員適正化計画では、教育長を除き199人を維持するとしていたが、5年間で2名減となった。					
推進部署の課長の所見		元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。  令和2年度においては、12人の退職者等に対し15人（うち再任用職員1人）を採用し、目標に対し2人の減員となっている。 これ以上の職員削減は、住民サービスの質の低下を招く恐れがあるため、新規採用する職種や職員の年齢別構成の適正化を検討しながら、計画的な採用を行っていく必要がある。 また、今後、定年退職者の増加に伴い増加が見込まれる再任用短時間勤務職員や、近年増加傾向にある臨時職員といった定数外職員も考慮した適正化計画を策定する必要がある。					
元年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源		千円		
	増収額	千円	うち一般財源		千円		
	新たな支出額	千円	うち一般財源		千円		

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
総務課	人事係（内線212）

項目番号	13	実施項目	超過勤務の縮減																																	
元年度計画の内容		令和元年度は、「ノー残業デーの実施、超過勤務実績の公表【時間外勤務時間数の対前年度比5%縮減】」を掲げている。																																		
元年度の取り組み内容 と評価、分析		1 事務量を考慮した人員配置 2 係を越えた応援体制の推進 3 ノー残業デー（毎週水曜日）の実施 4 超過勤務実績の公表																																		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外勤務時間数 A</td> <td>11,789</td> <td>12,553</td> <td>15,871</td> <td>14,724</td> <td>11,184</td> </tr> <tr> <td>選挙、災害等 B</td> <td>752</td> <td>1,568</td> <td>2,361</td> <td>3,158</td> <td>1,195</td> </tr> <tr> <td>A-B</td> <td>11,037</td> <td>10,985</td> <td>13,510</td> <td>11,566</td> <td>9,989</td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>-</td> <td>▲ 0.47</td> <td>22.99</td> <td>▲ 14.39</td> <td>▲ 13.63</td> </tr> </tbody> </table>						H27	H28	H29	H30	R1	時間外勤務時間数 A	11,789	12,553	15,871	14,724	11,184	選挙、災害等 B	752	1,568	2,361	3,158	1,195	A-B	11,037	10,985	13,510	11,566	9,989	対前年比	-	▲ 0.47	22.99	▲ 14.39	▲ 13.63
			H27	H28	H29	H30	R1																													
時間外勤務時間数 A	11,789	12,553	15,871	14,724	11,184																															
選挙、災害等 B	752	1,568	2,361	3,158	1,195																															
A-B	11,037	10,985	13,510	11,566	9,989																															
対前年比	-	▲ 0.47	22.99	▲ 14.39	▲ 13.63																															
<p>該当する箇所に○をつけてください。</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施                <input type="radio"/> b やや遅れ気味                <input type="radio"/> c 未着手         </p> <p>bまたはcの理由</p>																																				
H28からR1年度までの取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)		選挙や災害等臨時的な超過勤務を除いた経常的な超過勤務時間数の対前年度比5%縮減は、概ね達成できている。																																		
推進部署の課長の所見		<p>元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。</p> <p>29、30年度と大きな災害が続き、職員にも大きな負担がかかっていたが、令和元年度は大きな災害等なく、経常的な超過勤務時間数は従前の水準より縮減できた。          今後も引き続き、職員のコスト意識を高めるとともに、事務の効率化を図り、業務量を精査した適切な人員配置を行うことにより、時間外勤務の縮減に努める必要がある。</p>																																		
元年度の 実施による	削減額	3,884千円	うち一般財源		3,884千円																															
	増収額	千円	うち一般財源		千円																															
	新たな支出額	千円	うち一般財源		千円																															

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署			
農林課		林業振興係（内線292）	
項目番号	14	実施項目	第三セクター経営の健全化（株式会社グリーンキーパー）
元年度計画の内容		経営指導及び事業内容の見直し	
元年度の取り組み内容 と評価、分析		<p>（取り組み内容） （株）グリーンキーパーの経営の実態や課題の把握、整理を行うため経営診断を行っており、これに基づき課題解消のための指導を行った。</p> <p>（評価・分析） 平成29年度に行った資本金の減少により、平成30年度及び令和元年度決算では、町県民税の均等割が、121,600円減少した。 しかし、累積赤字の解消までは至っていないため、今後も引き続き確かな経営指導を実施する必要がある。</p>	
		<p style="color: blue;">該当する箇所に○をつけてください。</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施                  <input type="radio"/> b やや遅れ気味                  <input type="radio"/> c 未着手           </p>	
		<p style="color: blue;">bまたはcの理由</p>	
H28からR1年度までの取組に対する成果 (成果がない場合はその理由)		平成29年度に行った資本金の減少により、累積赤字が圧縮され、更に、中小企業に対する優遇税制が適用されるようになり、一層の経営改善に繋がった。	
推進部署の課長の所見		<p style="color: blue;">元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。</p> <p>今後も効率的な運営の指導に努めるとともに、作業員の確保に向けた取り組みを支援する。</p>	
元年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
商工観光課	商工労政係（内線263）

項目番号	14	実施項目	第三セクター経営の健全化（（有）砥部町産業開発公社）												
元年度計画の内容		経営指導及び事業内容の見直し													
元年度の取り組み内容 と評価、分析		（取組み内容） ○運営マニュアルの着実な履行により、店舗の運営や商品管理、接遇のレベルアップとその維持に努めた。 ○品揃えの充実・強化を図るとともに、年間イベントの見直しを行い、出荷者協議会との連携による効果的な開催に努めた。 ○公社の在り方を検討													
		該当する箇所に○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施      b やや遅れ気味      c 未着手													
		bまたはcの理由													
H28からR1年度までの取組に対する成果 （成果がない場合はその理由）		様々な経営改革を行った結果、赤字幅は年々減少し、黒字化を達成することができた。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">年度</td> <td style="width: 15%;">H28</td> <td style="width: 15%;">H29</td> <td style="width: 15%;">H30</td> <td style="width: 15%;">R1</td> </tr> <tr> <td>純資産</td> <td style="text-align: right;">▲758</td> <td style="text-align: right;">▲496</td> <td style="text-align: right;">▲91</td> <td style="text-align: right;">1,623</td> </tr> </table>				年度	H28	H29	H30	R1	純資産	▲758	▲496	▲91	1,623
年度	H28	H29	H30	R1											
純資産	▲758	▲496	▲91	1,623											
推進部署の課長の所見		元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。  計画どおり黒字化し、経営の健全化を図ることができた。 しかしながら、公社を取り巻く環境は、設立当時から大きく変化し、一定の役割を終えたと考えられることから、年度末で解散することとなった。													
元年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源	千円											
	増収額	千円	うち一般財源	千円											
	新たな支出額	千円	うち一般財源	千円											

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

## 令和元年度中の進行管理チェック票

推進部署	
戸籍税務課	収納係（内線 531）

項目番号	15	実施項目	町税等の収納対策
元年度計画の内容		滞納処分の強化	
元年度の取り組み内容 と評価、分析		<p>財産調査や差押等の滞納処分を積極的に行い、財産調査を643件、差押えを67件（徴収額3,904千円）実施した。                  現年徴収率の低下により未収金が約130万円増加した。また、消滅時効（5年）を防ぐ取り組みを強化した。                  大口破産者の即時欠損等により不納欠損額は約240万円増加したが、消滅時効額は約8万円減少した。                  上記の結果、町税等の目標徴収率については僅かに一部の税目（法人町民税の現年が0.02%減、後期高齢者医療保険料の現年が0.26%減、総括（現年+滞納）が0.28%減）において達成できなかったが、全体的には前年度と同率の高い徴収率を維持することができた。</p> <p style="color: blue;">該当する箇所に○をつけてください。</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> a 計画どおりに実施                      <input type="radio"/> b やや遅れ気味                      <input type="radio"/> c 未着手             </p> <p style="color: blue;">bまたはcの理由</p>	
		<p>H28年度からの4年間で延べ、財産調査を4,047件、差押えを553件（徴収額20,097千円）実施した結果、未収金は4年前のH27年度と比較すると約24%減少した。                  また、消滅時効（5年）を防ぐ取り組みを強化した結果、4年間で延べ18,441千円を不納欠損し消滅時効額は4年前のH27年度と比較すると約73%減少した。</p>	
		<p style="color: blue;">元年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。</p> <p>滞納処分の強化を年度別計画として継続することにより、全体的に高い徴収率を維持することができた。今後も取り組みを継続し、さらなる徴収率の維持、向上に努める。</p>	
元年度の 実施による	削減額	千円	うち一般財源 千円
	増収額	千円	うち一般財源 千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源 千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。